

ダンプあきたの

NO.382 全日本建設交運一般労働組合（略称・建交労）秋田ダンプ支部
 2018年10月5日発行 〒010-0976 秋田市八橋南1-2-29
 Tel.018-823-7748 fax018-823-7751
 Email: kenkourouakita@bz03.plala.or.jp
 一人はみんなのためにみんなは一人のために、一人が一人の仲間をふやそう、労災保険に加入しよう
 田中 070 - 5324 - 4053

カマヤん 闘い終えて ありむら潜



低所得者ほど格別な季節である

ダンプ冬タイヤの注文

再生タイヤ	21,000円 (BS)
	20,500円 (ヨコハマ扱い)
新品タイヤ	34,600円 (BS)
	32,000円 (ヨコハマ)

消費税・送料込みの価格です。注文の時、メーカーを必ずお知らせください。希望の場所に配達します。

県外への配達には運賃実費が必要です。代金は3回以内で納入します。

※在庫確認が必要なので、注文の際に組合へ問い合わせてください。

なお、ヨコハマタイヤ販売店扱いは、弘進リトレッド製の再生タイヤとなります。

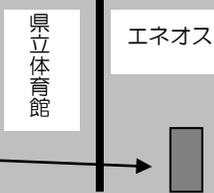
任意保険を自動車共済に切替えよう

安くて事故後のサービスも安心です。見積もりをしますので、事務所にまず電話を。

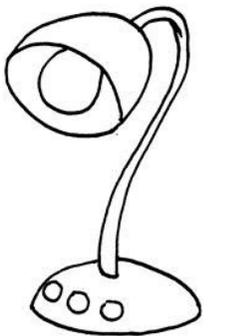
ダンプ支部第31回定期大会

とき 11月25日(日) 10時~12時30分

ところ サンライフ秋田2階 (秋田市八橋南1-8-7)
 (第2研修室)



◆今回は、日曜日の日中の開催です。会場までの往復の交通費（ガソリン代）と昼食代は組合で負担します。組合員が意見を出し合い、活動方針を決める大事な機会です。みなさんの積極的な参加をお願いします。後日出欠確認の案内をしますので返事を出してください。



背番号が書かれていない…法律違反です（罰金刑もあります）

昨年来組合は、「ダンプに表示番号（背番号）が書かれていない状況が多く見られる。ダンプ規制法に従って改善すること」を口頭や文書で秋田運輸支局に要請してきましたが、なかなか改善されていません。

今年9月、秋田運輸支局に「さらに表示番号が書かれていないダンプが増えている。国交省の工事現場にも入っている」として改善をもとめました。今年春からは、担当の専門官も替わったので支局内で相談してから回答するとなっています。参考までに以下は、今年冬やりとりした内容を紹介しします。

専門官：支局内で要請に対してどうするか検査担当者らと話し合った。支局としてはユーザー車検など車両を直接持込むのには、支局内にある独立行政法人である検査機構に車検を依頼している。またもうひとつのケースとしてディーラーや民間車検場に依頼している。

検査機構は支局内にあるので、人事交流している。ここでは持ち込まれた車両を目視しているため表示番号が消えていたり、かすっていたりすれば支局の検査官がきちんと表示するように話している。しかし、車両を持ち込んだ人が「これから看板屋に書いてもらいます」と言えば、そうしてくださいと言って、どうなったか事後の確認はしていない。

組合：車検証や自重計適合証に書いてあればいいということか。使用者には表示番号の表示義務があり、支局の職員にはそれを守らせる義務がある。守らなければ3万円以下の罰金刑もある。では、ディーラーや民間車検場にはどのようにするのか。文書での指導の徹底を求めるが、根拠条文を示して使用者の義務であることを示し、守らなかつたら罰金もあることをしっかりとすべきではないか。

専門官：今後は、民間車検場の検査員やディーラーの事業場管理責任者へのそれぞれの研修会（年に何回か春や秋に開催）で「表示番号の表示については、法律でこうなっている」とそのつど口頭で説明して周知したい。直近では年度替りの春に研修会が行われるので、そこから始めたい。

組合：一歩前進とみたい。いい方向に変化することを期待したい。



交通安全推進団体の印
 組合のプレートを出して堂々と仕事をしよう
組合加入者の紹介を！

2018.10.5

オール沖縄めぐるとんな芽もつむメディアの周到さ

朝日新聞朝刊 8月29日付に、安室奈美恵に感謝の気持ちを伝えるメッセージと3千名以上の名前やニックネームが記載された1ページの広告が掲載された。その日の夕刊フジに「安室ファン『朝日広告』にネット騒然」「沖縄県知事選影響か」の見出し。記事は「全面広告が29日、朝日新聞朝刊（全国版）だけに掲載されたのだ。（略）地元で予定されるライブ出演が沖縄県知事選中とあって政治利用される懸念があるだけにネット上を騒がせている」「朝日新聞だけに広告が掲載されたことを何かのメッセージと受け止める向きも少なくない」と。

私はどんな広告かと興味津々、一字一句見落とすまいと探した。翁長知事の、玉城さんの名前が隠れているのか…。だがメッセージ性は「これからもあなたの音楽を愛し続けます」だけだった。

そういえば「NHKニュース 7」で、安室の公式ホームページにのった翁長知事を追悼するコメントを紹介する時、「今思えばあの時も、体調が優れなかったにも関わらず、私を気遣ってくださり、優しい言葉をかけてくださいました。心から、ご冥福をお祈り致します」と編集。「沖縄の事を考え、沖縄の為に尽くしてこられた翁長知事のご遺志がこの先も受け継がれ、これからも多くの人に愛される沖縄であることを願っております」の部分を消した。

うがった見方を吹聴し、翁長知事存在を否定して、どんな芽も摘む周到さが垣間見える。オール沖縄よ！踏ん張り時だ。

飯田光徳 社会福祉法人「野の花福祉会」



沖縄知事選 玉城デニー氏 勝利 オール沖縄安倍政権に痛打

オスプレイ飛行は日本全土に

政府は8月22日、在日米空軍が5機のCV22 オスプレイを10月1日に東京・横田基地へ配備すると公表。4月の配備計画以降、特に6月下旬より長期間、住宅密集地の横田に留まり、地元への情報提供もないまま、周辺で飛行を繰り返した。「地位協定」を盾に強引に配備が決められた。

一方、山口佐賀県知事は8月24日突然、自衛隊オスプレイ配備計画受け入れを表明。着陸料100億円という金銭がひょっこり出てきたのも困惑する。佐賀空港は県と漁協との協定により自衛隊との共用を禁じられている。空港にオスプレイの燃料が注げる機能が備われば米軍機飛来も常態化の可能性も…。配備で経済浮揚を期待する声もあるが、大学や企業誘致とは訳が違う。地元紙は「『佐賀も軍用化で潤った』と言われるのはつらい」と報じた。

政府は「機体には問題ない」、運用時に空中給油や発着艦訓練を有明海を含む県内上空では実施しないというが、信用できるか。

長野県等は、オスプレイの訓練予定ルートに含まれていることから、実態把握のため県民からの騒音の程度・飛行高度等の目撃情報を収集し警戒を強めている。普天間の海兵隊オスプレイが各地へ飛行するケースが続くが、さらに拍車がかかりそうだ。沖縄の負担軽減か。いや今や基地機能の拡散、危険なオスプレイの飛行が日本全国の日常になる。

飯田光徳 社会福祉法人「野の花福祉会」